

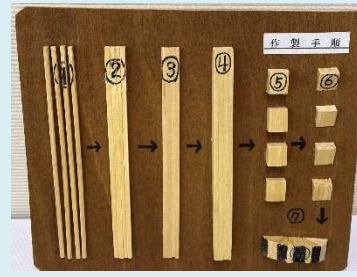
こんにちは

2025年 1月号

いのちを敬い いのちを愛し いのちに仕えることによって 神の愛の実現に奉仕する

令和7年1月15日発行

HP/https://www.shalomwakaba.com



割り箸を寄木細工の様に接着し平面ではなく立体的に仕上げています。色は染色した割り箸を使用しています。

割り箸アート 鈴木靖夫



鯉の口は中空、実は作品は中空になつておりとても軽いです。



新春なので縁起物を揃えて下さいました。

展示ボランティア募集

上記掲載の写真や作品は、シャローム若葉若松事業所の会議室に毎月替わりで展示しているものを広報誌「こんにちは」でご紹介しています。

皆さまの中には自分で描いた絵や作品が誰にも見られず眠っている方も多いのではないのでしょうか？そんな作品を展示してみませんか？

展示した作品は「こんにちは」で紹介させていただきます。ご希望の方はぜひお問い合わせください。

お問い合わせ：電話 043-234-5111 メール info@shalomwakaba.com

シャローム若葉 各サービス空き情報

訪問介護	(月)△ (火)○ (水)○ (木)○ (金)△ ご希望に沿える様対応させていただきます。	虹の家	本入居の為に入居受付が必要となります。随時受け付けておりますのでご連絡下さい。
デイ	利用をご希望の方は、曜日・入浴等ご相談下さい。随時、状況をお知らせ致します。また、見学につきましては、発熱など風邪症状が無い方でしたらご見学いただけますのでお問合せ下さい。		

発行：社会福祉法人 三育ライフ

 理事長：東海林 正樹
 施設長：高幣 義嗣
 広報委員会：
 若井由紀子・芳賀卓・大川晃次郎
 山本一・田野希・小野裕美
 お問い合わせ先：
 info@shalomwakaba.com
 HP:https://www.shalomwakaba.com/

シャローム若葉 桜木本部	電話番号	FAX 番号
管理部門	043-234-5111	043-234-5119
児童デイサービス STEP+	043-312-6655	043-234-5119
第2 居宅介護支援事業所	043-308-8588	043-234-5119
シャローム若葉 若松事業所	電話番号	FAX 番号
デイサービスセンター	043-235-4866	043-235-4850
グループホーム虹の家	043-235-4867	043-235-4868
居宅介護支援事業所	043-214-3450	043-234-8411
訪問介護事業所	043-214-5567	043-234-8411
福祉用具貸与事業所	043-309-8598	043-234-8412
シャローム若葉 区役所前事業所	電話番号	FAX 番号
千葉市あんしんケアセンター桜木	043-214-1841	043-214-8787

【編集後記】 新年明けましておめでとうございます。私は毎年箱根駅伝を見るのが楽しみで、選手達の一連の箱根に懸ける思いにはドラマがあり、ここまでたどり着くプロセスを感じながら一喜一憂しています。まさに人生は山あり・谷あり・・・そんなことを考えていると利用者様の姿を思い浮かべ、今年ももっと人生に寄り添ったお手伝い出来るように心掛けていきたいと思ひます。(0.K)



明けましておめでとうございます
本年も宜しくお願い申し上げます

新春 虹の家では正月の飾りつけをし、デイサービスではお茶会を楽しみました。良い1年でありますように。

地域と福祉のあんしん懸け橋

大谷選手のように

明けましておめでとうございます。日頃より多くの方々のご理解とご協力により、シャローム若葉の働きが守られていることを心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年の元旦には能登半島で地震が発生し、被災地では大きな被害が発生しました。更には、9月には豪雨が能登を襲いました。二重の被災を受けながらも、「帰ってきたい能登にする」と歯を食いしばって前を向こうとしている方の新聞記事(朝日12月29日)を読みました。改めてご苦労しておられる皆さんを忘れてはならないと思ひました。先の見えない困難な毎日を過ごしておられる方々が、一日も早く平穏な生活ができるように祈りたいと思ひます。

ところで、ワールドシリーズでニューヨーク・ヤンキースに勝利し、見事に優勝を果たしたロサンゼルス・ドジャースの大谷選手の活躍は、被災地の皆さんのみならず、多くの方々に希望と励ましを与えました。しかしその彼も、美しい伴侶を得た直後に、信頼をしていた通訳者から裏切られていたことが発覚し、深い傷を負っていました。その痛みを抱えながらも、まるで痛みを抱えてな

どいないかのように、役割と責任を果たし、誰をも笑顔にした素晴らしい成績を残しました。彼の途な、野球少年のようなその姿勢でどれほど多くの方が励まされたことでしょうか

三育ライフの理念は「いのちを敬い、いのちを愛し、いのちに仕えることによって、神の愛の実現に奉仕する」というものです。この理念は自分のことだけでなく、他者のことを重い、その必要に応えることを求めています。私たちはもちろん大谷選手ではありません。しかし私たちもそれぞれの役割に心を込め、どなたかの毎日を励まし、応援することのできるような歩みをしたと思ひます。

新たに迎えたこの一年も、職員一同心を引き締め、ご利用者の皆様やご家族、そして地域社会の皆様の幸せのために貢献できればと祈っています。



社会福祉法人三育ライフ 理事長 東海林 正樹



虹の家の年末年始 2024⇒2025

令和7年が始まりました。

虹の家ではクリスマスが終わると新年を迎える準備として入居者に花を活けてもらいます。年明けは近所の三社神社へ初詣に行きました。



三社神社では鈴緒(すずのお)の前に階段があるので昇降できない方は階段下でお参りをしました。



関東大震災の縦揺れの衝撃には驚きました。いつ起きるかわからない地震には恐怖しかありませんが、「備え」は物に限らず、心身共であることを痛感しました。

施設としても、改めて防災対策、備えを検討してスタッフで共有したいと思います。 虹の家 貴島

テレビでは見たことはありましたが、「自然の力はすごいな」と感じました。つかまっているだけで、精一杯でした。体験車から降りた後も「ゆらゆら」していました。これから起こるかもしれないので、色々備えておかなければならないと思いました。今回は体験できてよかったです。地震や災害に遭われた方々はとても怖かったらうと思いました。 虹の家 五木田

椅子に座っている状態からの大きな揺れで、体が前後左右上下に振られてテーブルに掴まっているだけでも大変でした。揺れている最中は椅子が10cm以上動きびっくりしました。

こんな大きな揺れが実際に自分の身に起きたら怖いと思いました。いつ来るかわからない地震に普段から何を備えておくかを考える良い機会になりました。 給食 小林

南海トラフ地震を想定した揺れを体験しました。テーブルにしがみついても飛ばされてしまいそうなほどの揺れで、小さい子供やお年寄り(私を含めて)は危惧の念を抱きました。

体験後は今までの認識を払拭し地震の恐ろしさを改めて痛感しました。この体験を無駄にすることなくこれからの生活に役立てたいと思った。 給食 秋元

外から見ている分には全く実感できませんが、実際に体験車に乗り、揺れの激しさと、縦揺れ、横揺れがランダムに来て、頭がクラクラしました。

車内では机が固定されており、つかまる所がありましたが、実際には机やイスは固定されていないので非常に危険を感じました。また、揺れがおさまってすぐに歩き出すと、転倒リスクがある等、今後の対策に活かしていきたいと思います。 虹の家 大川

私が実際体験した地震では、東日本大震災が最も大きな体験で、当時若松のデイサービスで勤務中ご利用者の排泄介助中トイレ内で震度5弱を経験しました。今回はそれをはるかに上回る巨大震度を体験し、もし今後大地震が起きた時を想像すると恐怖と同時に自分や家族を含め周りの方々と、今回の体験を活かしてどのような行動が必要か考えさせられました。 虹の家 小谷

新年を迎え新たな気持ちで防災予防と地震への日頃の備えを考えてみましょう。

正月を迎え昨年1月1日に起きた能登半島地震から1年が経ちました。昨年は南海トラフ地震警戒警報が発令されるなど地震への警戒意識が高くなっています。

シャローム若葉では昨年末に全事情所が参加し避難訓練や千葉市消防局の起震車を使用した地震体験を実施いたしました。

ご利用者が見守る中「関東大震災」「阪神淡路大震災」「東日本大震災」「南海トラフ地震想定」の震度7の揺れを職員が体験しました。希望のあったご利用者も体験！体調を考慮し震度4~5程度のやや強めの揺れを体験しました。先に震度7の揺れを見ていたせいか「あんまり揺れなかった」との感想でしたが、実際に震度7の揺れを体験した職員は起震車初体験でした。どのように感じたのでしょうか？



揺れはかなりリアルで自分の意志では動けない怖さを感じました。

テーブルは固定されていましたが、これが日常で突然起こったら果たして訂正に対処できるだろうかと不安になります。この体験を通して自身のみならず災害に対する備えのシミュレーションを図っておくことの大切さを改めて感じました。 給食 田谷

震度7の揺れの強さに驚きました。起震車では固定された机に掴まることができたので椅子に座っていられたのですが、実際に震度7の地震が起きたら床に座り込んで何もできないのではと感じました。

日頃の備え、心構えが大切だと改めて思いました。まずは随分前に準備した防災リュックを見直します。 デイサービス 江澤

前もって「震度7」と聞いていたので心構えができましたが、すごい揺れで座っていてもテーブルに掴まっているだけで精一杯でした。揺さ振られない様にしっかりとテーブルに掴まりすぎてテーブルで胸を打ってしまいました。大きな地震が来ると言われているので震度7の揺れを体験できてよかったです。 デイサービス 山崎

児童デイサービス STEP+では煙体験ハウスと起震車を体験しました

地震体験は児童の負担軽減の為、補助の職員を配置し震度6を体験しました。煙体験ハウスでは壁のように配置された布を避けながらの避難を体験しました。

*下記の感想は児童が文字にしたまま書いているので、漢字変換していません。



防災訓練で、僕が思ったことは、二つあります。一つ目は、地震です。僕が生まれる前に起きた地震を体験している先生たちを見て、ちょっとだけこわいなと思いました。改めて地震のこわさを思い知りました。二つ目は煙です。火災が起きて煙が充満したら、低い姿勢を保つことで、煙を吸わずにひなんできることを学びました。もしも、地震が起きたら机の下に隠れます。 K.K(小6)

ぼくは12月27日にひなんくんれんをやりました。けむりのたいけんとじしんのたいけんをしました。最初にやったけむりのたいけんは入口から出口まで歩きます。しかしけむりで前が見えなくなります。だからかべをたどっていかないと出口までにはいけません。次にじしんたいけんをしました。ぼくたちがたいけんしたのはしん度6強のじしんです。つくえの足をつかんでいるとき外の様子が見えなくてこわかったです。そのあと先生が体験していたしん度7強のじしんを見て本とうに起きたらどうなるかを考えるとこわくてちょっと泣きそうになりました。 F.H(中3)